

2011年06月05日

中国山地 大山(剣ヶ峰) 単独行

標高: 伯耆大山最高峰 剣ヶ峰 1729m

コース距離: 11.73km、 所要時間: 6時間43分(休憩含む)、 コース高低差: 962m

コースタイム

大山寺橋 4:44 6:01下宝珠越 6:25中宝珠越 7:02上宝珠越 7:27 三鈷峰 7:33 7:45 ユートピア  
 7:45 ユートピア避難小屋 7:49 像ヶ鼻 8:08 天狗ヶ峰 8:30 剣ヶ峰 8:41 9:13 像ヶ鼻(食事休憩)  
 9:13 像ヶ鼻(食事休憩) 9:55 10:13上宝珠越 (元谷砂すべり) 10:42 元谷ケルン 11:26 大山寺橋

場所の名称	時刻	標高 m	標高 校正
大山寺橋	4:44	781.7	767
下宝珠越	6:01	1135.9	1121
中宝珠越	6:25	1231.1	1219
上宝珠越	7:02	1415.2	1391
三鈷峰	7:27	1519	1516
	7:33		
ユートピア避難小屋	7:45	1518.5	1489
像ヶ鼻	7:49	1540.2	1550
天狗ヶ峰	8:08	1632.5	1636
大山(剣ヶ峰)	8:30	1730.5	1729
	8:41		
像ヶ鼻(食事休憩)	9:13	1560.4	1550
	9:55		
上宝珠越	10:13	1421.4	1391
(元谷砂すべり)			
元谷ケルン	10:42	1132.6	1097
大山寺橋	11:26	786.5	767

\* 行程グラフ



\* 山行軌跡





## \* 山行記

### 登山口へのアプローチ

前日深夜に自宅を出て、茨木ICより高速に乗り中国道落合ジャンクから米子自動車道で溝口ICで降りて国道45号・158号で大山寺橋横の駐車場へ3時45分に車を泊める。

車の中で少し休んでからトイレの前に登山届けポストがあり用紙が置いている、記入してポストへ投函して登山準備して出かける。

駐車場に到着してから1時間後、4時44分駐車場を後に大山寺橋を渡り登山口へ。

5時4分大神山神社裏から左の尾根へ行くところを右側の行者谷側へ進んでしまう。元谷の出合に着いてすぐに尾根側に行ける道があると思っていたが堰堤で行き止まりになってしまっている、仕方ないので引き返すことにする。



(写真) 大神山神社裏の標識



(写真) 元谷の出合

出合で林道と出会っているので林道を通して引き返す。

5時41分尾根へ行ける道に出会う30分ほどロスをしてしまった。



(写真) 右:大神山神社から出てくる 左:林道を越えて尾根への道

6時1分に下宝珠越にたどり着くここから尾根歩きで登って行く、前方で鈴でなく笛音が聞こえる先行者が居るようだ。

左側から三鈷峰の山頂部が見え始める中宝珠越を過ぎて先行者に追いつき追い越す。

(写真)

木々の間から見上げる三鈷峰





中宝珠を過ぎると今日登る大山剣ヶ峰の北壁が見えてくる、所々展望を楽しめる  
右側は北壁で左側は三鈷峰を見る尾根道である。



(写真) 正面がユートピア



(写真) 大山北壁



(写真) 宝珠尾根より大山北壁パノラマ



登山道に咲く花 (写真) 左:イワカガミ、 中:ミヤマスマシレ、 左:大亀の木

7時17分ユートピアの分岐に到着する水分補給して三鈷峰を目指す、10分で山頂  
に到着し展望を満喫する。



左:三鈷峰  
山頂にて

右:三鈷峰  
より大山橋  
を見下ろす





三鈷峰を下り始めると分岐よりこちらに向かって登ってくる人が居る宝珠尾根で追い抜いた方のようなのである。



三鈷峰より

ユートピア



大山(剣ヶ峰)

7時49分像ヶ鼻で水分補給して休まず剣ヶ峰を目指す、天狗ヶ峰を8時8分通過するこの先砂礫の尾根歩きとなる長さは短いがつり尾根の様な所がある足を踏み出す毎に崩れだしてくる渡り終わるとキツイ登りだが壁の岩は手で掴むと崩れてくる足を踏ん張り登るしかない、バランスを保ちながら歩いて行かなければならない。



像ヶ鼻の  
上部より

左:  
ユートピア  
三鈷峰

右:  
剣ヶ峰方向



左:  
北壁を見  
下ろす

右:  
天狗ヶ峰  
より  
剣ヶ峰



左:  
槍ヶ峰の  
分岐より  
天狗ヶ峰  
を振返る

右:  
剣ヶ峰へ  
最後の登り





8時19分槍ヶ峰分岐を通過し8時30分に伯耆大山最高峰の剣ヶ峰に登頂する。  
山頂には石碑があるが土台が崩れて傾いている、山頂三角点は今は弥山に移されているが、弥山から剣ヶ峰のラクダの背は崩壊が激しいため通行止めされている。



剣ヶ峰  
山頂



剣ヶ峰より  
弥山を望む



右は拡大

弥山からの尾根口にはバリケードがされていたと認識しているが先の山頂部まで人が入ってきているのが見える。

8時41分下山を開始する、  
砂礫の下りは登りより足の置き場に注意を要するバランスを保ちながらゆっくりと足を下げて足元を確保する。

宝剣岳等の岩場では恐怖を持たなかったが、砂礫の下りは恐怖を覚える。

(写真)  
槍ヶ峰



槍ヶ峰の後に  
鳥ヶ山が見える



(写真)  
剣ヶ峰よりの帰り道



天狗ヶ峰まで降り下って行くと最初に出会った方と後から登ってきた人達に出会う。

山道の状況を話すと最初に出会った方は断念し下りることにした、後からの人は行ける所まで足を伸ばすとの事で別れた。

(写真)  
槍ヶ峰分岐から



山道の状況を話すと最初に出会った方は断念し下りることにした、後からの人は行ける所まで足を伸ばすとの事で別れた。

9時13分像ヶ鼻に帰り着き食事休憩する、帰りは大休峠周りを考えたが時間が掛かりそうなので上宝珠越までもと来た道を帰る事にする。

昨年は元谷砂すべりを通らなかったのが砂すべりで帰る事にする、10時13分上宝珠から谷に向かって下り始める谷に着くと砂利の下りになる足を踏ん張っても止ることが出来ない尻をつき体制を建て直す。

(写真)  
元谷の砂利場





下り始めると止めることが無理なので足を捕られないよう足を上げるようにして歩きながら下るようにすれば身体を建てて下ることが出来た。

(写真)  
元谷のケルン



30分してケルンのある所まで下り終えた、ケルンには上宝珠越まで50分と表示されているが砂利場を登るのは無理と思われる。

ケルンから後は普通の登山道になってしばらく進むと朝に利用してきた道に出会う  
11時26分大山寺橋駐車場に帰着く。

店で風呂を借りて汗を流し食事をして帰途に着く。